

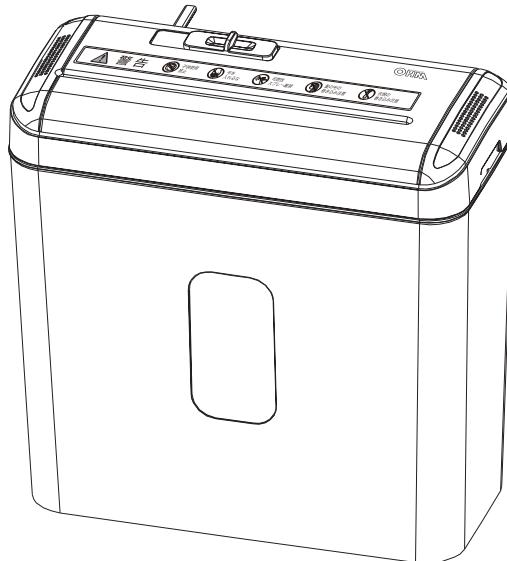
クロスカット シュレッダー

CROSS-CUT SHREDDER

SHR-X205B

取扱説明書

保証書付



商品特長

- ◎オートスタートスイッチ付き
- ◎4×40mm のクロスカット
- ◎一度に細断できる枚数 A4 サイズ
コピー用紙 (64g/m²) 5 枚まで
- ◎モーターを過熱から守る
オーバーヒート自動停止機能
- ◎8.0 ℥ ダストボックス

目次 / 仕様

目 次

目次 / 仕様	1
安全上のご注意	2~4
各部の名称と働き	5~6
使用方法	7
ご使用前に	7
紙を細断する	7
細断くずを捨てる	8
紙詰まりの処理	8
オーバーヒート	8
お手入れ方法	9
故障かな?と思ったら	10
保証書	裏表紙

仕 様

型番 / 品番	SHR-X205B/00-5175
外 形 尺 法	約 幅 290× 高さ 280× 奥行 140mm
質 量	約 3.0kg
電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	170W
定 格 電 流	1.8A
定 格 時 間	2 分 / 休止時間 40 分
投 入 口 幅	220mm
細断 サイズ	4×40mm クロスカット
最大細断枚数	A4 コピー用紙 (64g/ m ²) 5 枚
細 断 速 度	約 2.5m/ 分
コードの長さ	約 1.5m
ダストボックス容量	約 8.0 ℥
材 質	本体：ABS ダストボックス：PP

※測定条件：室温 20～25℃、相対湿度 45～55%、A4 コピー用紙 (64g/ m²)

※仕様及び外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。

梱包 内 容	シュレッダー本体（ダストボックス含）取扱説明書（保証書付）
--------	-------------------------------

安全上のご注意

必ずお守りください

■表示について：表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

(下記は図記号の一例です。)



禁止

この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。



指示

この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

取扱説明書参照	<ul style="list-style-type: none">●ご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、安全にお取り扱いください。
子供使用禁止	<ul style="list-style-type: none">●乳幼児やお子様、ペットを近づけたり、近くで使用しないでください。●絶対にお子様に触れさせたり、使用させないでください。 思わぬ事故や、感電、けがのおそれがあります。
手を入れるな	<ul style="list-style-type: none">●投入口や排出口に手や指を絶対に入れないでください。●細断中は紙から手を離してください。指で紙を押し込んだり、紙をつかんだりしないでください。●カッターパークには絶対に触れないでください。 けがのおそれがあります。
髪の毛巻込み注意	<ul style="list-style-type: none">●髪の毛を投入口に近づけないでください。 投入口に引き込まれ、けがのおそれがあります。
衣類巻込み注意	<ul style="list-style-type: none">●ネクタイ、スカーフ、カードホルダー、服の袖や裾、腕時計のベルトやチェーン、ブレスレットなどを投入口やその付近に近づけないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

 可燃性スプレー厳禁	<ul style="list-style-type: none">●可燃性スプレー（潤滑剤、オイルスプレー、エアーダスターなど）を絶対に吹きかけないでください。●ヘアースプレーなどを本製品の近くで使用しないでください。スプレーから噴射された可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none">●使用しない時はコンセントから電源プラグを抜いてください。思わぬ事故やけがの原因となることがあります。●発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜いてください。火災や感電のおそれがあります。使用を中止して、販売店または弊社修理ご相談センターに修理を依頼してください。
 禁 止	<ul style="list-style-type: none">●電源は交流 100V 50/60Hz 以外では使用しないでください。●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。●電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。●電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電のおそれがあります。●故障や一部破損した状態で使用しないでください。けがや感電のおそれがあります。●投入口をのぞき込んだり、顔を近づけないでください。けがのおそれがあります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none">●お客様自身での分解、改造、修理はしないでください。火災や感電、けがのおそれがあります。●販売店または弊社修理ご相談センターに修理を依頼してください。ご自身で分解、改造、修理を行なった場合は保証の対象となりません。

⚠ 注意



禁 止

- 以下のものは投入しないでください。
粘着ラベル、宅配便の送り状、ラベル等のついた紙、湿った紙、和紙、カーボン紙、ティッシュペーパー、新聞紙、フィルムやOHPシート等のプラスチックシート類、各種フィルム、ビニール類、ひも類、布類。
- 最大細断枚数を超える紙を投入しないでください。
- ホチキスの針、クリップ、ピンは取り除いてから細断してください。
故障や詰まりの原因になります。
- 上に座ったり、乗ったり、物を載せたりしないでください。
故障やけがの原因になります。
- 暖房器具や熱器具、火気のそばで使用しないでください。
本体が変形し、火災や感電、故障の原因になります。
- 高温多湿の場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
- 本製品に金属類を入れたり油や水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。
誤作動や故障の原因になります。



注 意

- 水平で安定した場所に設置してください。
本体が倒れ、けがのおそれがあります。
- 電源コンセントの近く（電源プラグの抜き差ししやすい場所）に設置してください。
- 電源コードは曲げたり束ねたりせず、伸ばした状態で使用してください。
- 電源プラグを抜く時は必ず電源プラグを持ってください。コード部分を持つて引っ張らないでください。
火災や感電、故障のおそれがあります。

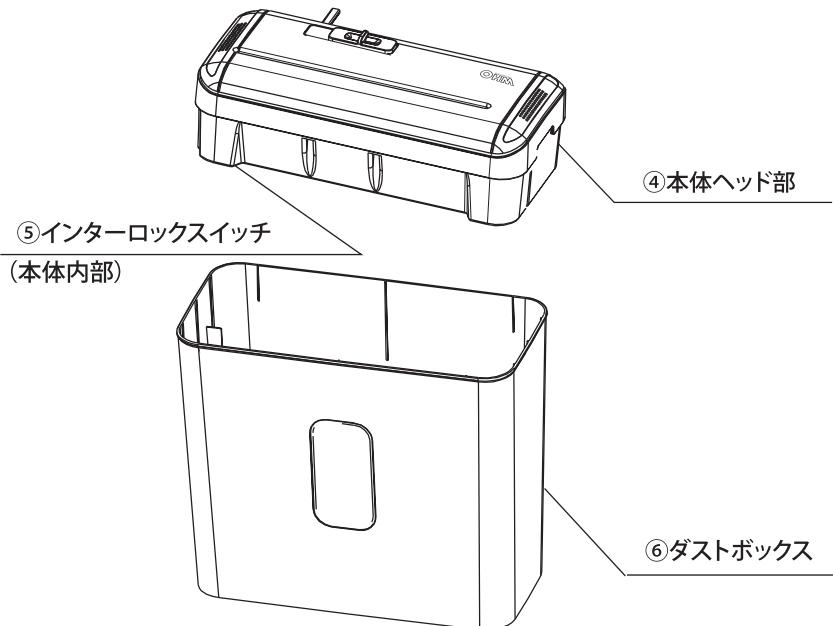
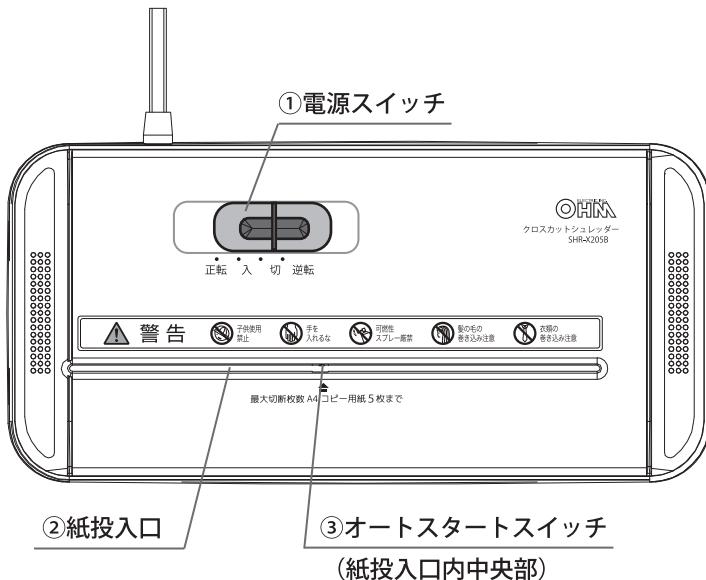


電源プラグを抜く

- 細断くずを捨てる時やお手入れをする時、本製品を移動する時、長期間使用しない時は、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。
火災や感電、けがのおそれがあります。

各部の名称と働き

■ 天面



各部の名称と働き

①電源スイッチ

使用するときには「入」の位置にしてください。

紙詰まりなどで逆転させる場合は「逆転」の位置にしてください。

紙投入口奥に残った細断くずをダストボックスへ落とす場合は「正転」の位置にしてください。

使用しないときは、必ず「切」の位置にしてください。

※「逆転」する前に、必ずダストボックス内の細断くずを捨ててください。

ダストボックス内の細断くずがカッターに巻き込まれ、故障のおそれがあります。

②紙投入口

細断する紙をここから投入します。

③オートスタートスイッチ(紙投入口内中央部)

紙投入口内中央部には検知スイッチがあります。

「紙投入口」から細断する紙を投入すると、自動的に細断が始まります。

「オートスタートスイッチ」を通過するように紙を投入してください。

④本体ヘッド部

内部に細断用の刃があります。取り扱いには十分注意してください。

⑤インターロックスイッチ(本体内部)

「ダストボックス」が本体に正しくセットされていないときに電源を遮断する安全装置です。

⑥ダストボックス

細断くずを収納します。

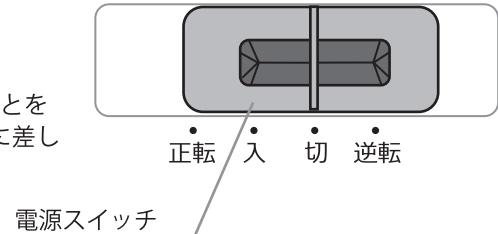
使用方法

■ ご使用前に

- ご使用前に必ず水平で安定した場所に設置してください。

■ 紙を細断する

1. 「電源スイッチ」が「切」の位置にあることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



2. 「電源スイッチ」を「入」の位置にして、細断する紙を「紙投入口」にまっすぐ投入してください。「オートスタートスイッチ」が検知し、自動的に細断が始まります。
3. 細断終了後、自動的に細断が停止します。
4. 細断が終了しましたら、「電源スイッチ」を「切」の位置にしてください。使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- 投入口をのぞき込んだり、顔を近づけないでください。けがのおそれがあります。
- 一度に細断できる紙は A4 コピー用紙 (64g/m²) で 5 枚までです。
- 連続投入しないでください。紙詰まりの原因になります。
- 紙の細断状態は紙の質、湿気などにより変わりますので、ご了承ください。
- 以下のものは細断できません。投入しないでください。故障やケガの原因になります。
粘着ラベル、宅配便の送り状、ラベル等のついた紙、湿った紙、和紙、カーボン紙、ティッシュペーパー、新聞紙、フィルムや OHP シート等のプラスチックシート類、各種フィルム、ビニール類、ひも類、布類。

使用方法

■細断くずを捨てる

■巻き込みなど故障の原因になりますので、細断した紙が「ダストボックス」にいっぱいになる前に捨ててください。

[処理方法]

1. 細断くずを捨てるときは必ず本製品の電源スイッチを「切」の状態にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 「ヘッド部」を持ち上げ、「ダストボックス」内の細断くずを捨ててください。

3. 「ヘッド部」を「ダストボックス」にセットしてください。正しくセットされないと「電源スイッチ」を「入」の位置にしても、細断ができません。

⚠ 注意

●細断くずは各自治体の定める規定に従って廃棄してください。

●細断くずは満杯になる前にこまめに捨ててください。

細断くずがたまたまま使用を続けますと、細断くずがカッターに巻き込まれ、故障の原因となります。

■紙詰まりの処理

1. 上記の「細断くずを捨てる」の項目を参考に「ダストボックス」内の細断くずを捨ててください。

2. 「電源スイッチ」を「逆転」の位置にし、詰まった紙を取り除いてください。

3. 「電源スイッチ」を「入」の位置にし、紙の量を減らして再投入してください。

■オーバーヒート

■2分間以上連續で使用した場合や紙詰まりを何回も起こした場合などにモーターの過熱による故障を防ぐため、細断が自動的に停止することがあります。停止した場合は以下の手順で操作してください。

1. 「電源スイッチ」を「切」の位置にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 40分以上そのまま放置して、モーターを冷却してください。

3. 電源プラグをコンセントに差し込み「電源スイッチ」を「入」の位置にしてください。

4. 細断する紙を投入して細断を行なってください。

使用方法

■お手入れ方法

■お手入れは「本体外部樹脂」と「ダストボックス」のみを行なってください。

1. 「電源スイッチ」を「切」の位置にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を少量布につけて拭き取ってください。

⚠ 警告

- 可燃性スプレー（潤滑剤、オイルスプレー、エアーダスターなど）を絶対に吹きかけないでください。可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発のおそれがあります。
- 細断刃部分には手をふれないでください。

⚠ 注意

- シンナーやベンジン等の有機溶剤は変色、変形、傷の原因となりますので絶対に使用しないでください。

故障かな？と思ったら

■トラブルが発生した場合は以下のチェックを行なってください。

現象	確認内容	対処法
シュレッダーが動かない	電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	「電源スイッチ」が「入」になっていますか？	「電源スイッチ」を「入」の位置にしてください。
	細断する紙が投入口の「オートスタートスイッチ」の部分に入っていますか？	紙投入口内中央部にある「オートスタートスイッチ」を通過するように投入してください。
	「ダストボックス」が本体に正しくセットされていますか？	「ダストボックス」を正しく本体にセットしてください。
細断中にとまつた 細断できない	細断する紙が投入口で詰まっていますか？	「電源スイッチ」を「逆転」の位置に合わせて紙を取り除いてください。紙の量を減らして再投入してください。
	オーバーヒート自動停止機能が働いていませんか？	紙をかみ込んだ状態で運転を続けたり、通常使用で連続運転を長く続けたりしますと、モーター保護のため細断が自動的に停止します。 この時は電源を切り、約 40 分間本製品を休ませる必要があります。
	紙を斜めにして入れていませんか？	「電源スイッチ」を「逆転」の位置に合わせて紙を取り除いてください。紙をまっすぐにして再投入してください。
クロスカット状に細断されない	「規定枚数」以上投入していませんか？	一度に細断できる枚数は A4 コピー用紙 (64g/m ²) 5 枚までです。
「電源スイッチ」を「逆転」の位置に合わせた時 細断くずが巻き込まれる	「逆転」の位置に合わせる時「ダストボックス」に細断くずが入っていないですか？	「電源スイッチ」を「逆転」の位置に合わせる前に「ダストボックス」内の細断くずを取り除いてください。

上記を確認しても現象が改善されない場合は事故防止のため、ただちに使用を中止して、必ず販売店または弊社修理ご相談センターに修理・点検を依頼してください。